

# 平成 29 年度 姉妹校等留学プログラム

## カナダ国際交流プログラム

### (1) 学校・団体名/種類（派遣高校生的人数）

横浜市立みなと総合高等学校／海外研修（2名）

### (2) 渡航先

国／都市：カナダ／バンクーバ

外国の高校：ブリタニア・セカンダリー・スクール

### (3) 期間

平成 30 年 2 月 17 日～平成 30 年 2 月 24 日（8日間）

### (4) プログラムの趣旨・目的

指導の重点として掲げる「国際交流を通じて相互理解力やコミュニケーションを高める教育」の実践の場として海外の姉妹校との交流を行い、国際性を高める教育を推進する。また、参加生徒たちが帰国後に国際交流のリーダーとして活躍していくための素養を養う。

### (5) 活動内容

現地の一般家庭にホームステイして異文化体験をしながら、姉妹校での学校体験や市内研修を行う。また、同校の Japan Club の生徒とは事前のメールなどでのやり取りを経て、現地ではバディとして一緒に授業を受けたり休み時間を過ごしたりして交流する。帰国後は、国際理解講演会で体験談や感想を全校生徒に発表する。

### (6) 実績・成果

#### ○派遣高校生 YKさん

私は7日間のカナダ国際交流プログラムに参加しました。海外に行くのは初めてで、飛行機に乗るのも数回目、不安がいっぱいなまま出発の日を迎えました。帰ってきた今では不安だったことが嘘のように、たくさんの思い出と達成感でいっぱいです。

現地で学んだことは数え切れないくらいありますが、私が一番感じたことは「積極的に行動する」ということの大切さです。現地に行く前にも、海外と日本の文化の違いや学校の授業の様子などを調べたり先生方から話を聞いたりしてある程度は理解していたのですが、実際に体験し、自分の目で見て触れて感じることで得ることができる新しい発見や気づきはたくさんありました。例えばいつも私が日本で受けている授業は50分で授業中は静かに受けるのが基本ですが、カナダの姉妹校での授業は70分で

先生がひたすら話し、生徒がひたすら静かに板書をする授業のほうが少なかったです。わからないことや疑問に思ったことはたとえ授業中でも、先生が説明している途中でも、その場で質問し解決するというのが当たり前なのです。当然、眠っている生徒など誰一人いません。授業のやり方、生徒の授業に対する姿勢に感動しました。姉妹校での体験授業、バディーとの交流などを通し、自ら行動を起こす、つまり積極的に行動をするその姿勢や気持ちの大切さを学びました。

また、ホームステイを通しては日本との大きな文化の違いを学びました。姉妹校へ体験授業に行く時、ホストマザーはランチにサンドウィッチとりんごをまるごと渡してくれました。日本では経験したことのない体験で、少し戸惑いましたが学校へ行って友達に聞いてみるとほとんどの子がリンゴやバナナを丸ごと持っていました。日本のリンゴよりサイズは小さく、ひとりでひとつ食べきれるくらいの大きさでした。また、姉妹校の生徒はお昼の時間は廊下の地面に座ってご飯を食べていました。日本ではありえない光景で驚きました。

ホームステイでリアルな現地の生活を体験したり、姉妹校で生徒として授業や活動に参加したりすることでカナダの文化や習慣を学ぶことができ、日本との違いをたくさん感じることができました。

バンクーバーは横浜と気候がよく似ています。私達が行ったときは、雪が降り積もっていましたが、ホストファミリーに聞いてみると雪が降ることはとても少ないと言っていました。私自身、カナダと言えば雪がたくさん降っていて冬の間はずっと雪景色だと思っていたので驚きました。また、バンクーバーは横浜と同じ港町です。私達が訪れた観光地でも景色などから港町だということを感じることができました。横浜には観光地として有名な中華街がありますが、バンクーバーにも中華街があります。私がホストファミリーと出かけた日は、ちょうど中国の旧正月のパレードをやっていたので、それを見に中華街へ行きました。私が通っているみなと総合高校は中華街にとっても近くその景色はとても見慣れているのでバンクーバーの中華街との違いに気がつくことができました。例えば、横浜の中華街は道の幅が狭く、車の通りは少ないですが、バンクーバーの中華街は道の幅が広く、車道と歩道の区別がはっきりされていました。建物は横浜の中華街と特別に変わった様子はありませんでした。また、お昼に肉まんを食べましたが、普段日本で食べているものとは違い中身を包んでいる皮が少し甘く、分厚かったです。横浜市の本ナーバーと似た気候や景色、同じ港町だと言うことや観光地が多いことなどを紹介しました。

この研修を通してリスニング力や発音なども、もちろん上達しました。実際に研修前と研修後に行ったリスニングテストでは10点以上点数が上がりました。しかし、上がったのは英語力だけでなく、コミュニケーション能力や主体性も向上しました。英語を話す上で文法や単語を正しく使うことができたり、発音やアクセントを正確に上手に言えることも当然大事ですが、たくさんの人との交流や会話を通していちばん大切なのは「コミュニケーションを取りたい」「もっと知りたい」という気持ちや姿勢だということ

に気が付きました。たとえ文法や発音が完璧でなくても、この気持が伝われば相手も理解しようと努力してくれたり、間違いを優しく指摘してくれます。日本人はミスをするのを恐れ、自分から行動をすることが苦手です。私もとても苦手でした。勝手なイメージで、外国人は聞き取りにくく理解しにくい英語を話していたら相手にしてくれないのではないか、などと思ってしまっていたのですが、そんなことはまったくなく優しく、一生懸命理解しようとしてくれてとても嬉しかったです。日本とカナダの文化や習慣のなどもお互いに共有し、違いを実感したりそれによって話がいろいろな方向に広がったりもしました。この研修で学ぶことができた、コミュニケーションを取りたいという姿勢の大切さや様々な文化を知り、受け入れるということのをこれからの将来に生かしていきたいと思います。文化や習慣から生まれる様々な考え方を否定せずお互いに理解し、尊重し合うことでよりよい世界を作ることができると思います。

今回の研修に参加し、たくさんのことを学びそれを自分自身の経験にできたのも、私の気持ちを理解し快く送り出してくれた家族や、応援してくれた友達、ともに過ごした仲間やホームステイのバディーなどの支えがあったからです。本当にありがとうございました。

今の自分に満足せず、さらなる向上を目指し日々努力していきたいです。

### ○派遣高校生 KYさん

僕はこの7日間のカナダ国際交流プログラムに参加させてもらい、大きく分けると3つの能力を向上させることができました。

まず1つ目にコミュニケーション能力です。このプログラムでは現地のコーディネーターさんや、ホストファミリー、ヴァンテック高生、ブリタニア高生など、たくさんの方と触れ合うことができました。お互い異国人同士だったので、言葉があまり通じず、最初はぎこちない雰囲気でした。ですが、コミュニケーションを少しずつとっていくうちに、コミュニケーションで1番大事なものは言葉じゃなくて、伝えようとする気持ちだとわかりました。例えば、単語がわからない時にはジェスチャーを使ったり、発音が間違っていて通じなかったとしても、スベルを言ったりなど、英語が話せなくてもコミュニケーションをとることはできました。

次に積極性です。このプログラムではたくさんの方と触れ合う機会がありますが、自分から話しかけに行かないと相手に話したくないのかなと思われてしまいます。そして授業では、先生は内容の6割くらいしか説明せず、残りは生徒自身が質問しに行くという習慣も学校にありました。僕を含めた日本の学生のほとんどは積極性が欠けているなと思いました。そしてカナダの学生と一緒にいて、積極性の重要さに気づき、積極性を培うことができました。

最後に異文化を理解することです。カナダには移民が多く、今回のプログラムでも、インド系のホームステイ先に泊まったという生徒もいました。他にも、日本の学校では授業中に携帯を使ってはいけません。それは必要ないからです。でも、カナダではケー

タイが教科書になったり、辞書になったりと授業での必需品となっていました。このように、日本人の目線から見るとありえないことでも、他の国では当たり前のことがたくさんあります。僕は最初は使うのに罪悪感がありましたが、カナダでは使う目的が違うんだと、つまり異文化だということを受け入れることができました。

僕は将来英語を使った仕事に就きたいと思っているので、このプログラムで得た、英語力やコミュニケーション力、積極性、そして異文化理解を受け入れることなどを基盤にこれからもそれらの力を磨いていって将来の夢に少しでも近づけるようにしたいです。

このプログラムを計画してくださった先生や、資金の補助をしてくださった横浜市の方や、色々なことを教えてくれたバディーや、優しく接してくれたホストファミリーなど他にもたくさんの方々に助けをもらいこのプログラムで多くのことを学ぶことができ、自分の将来の夢に近づくことができました。本当にありがとうございます。この経験をいかして、これからどんどん国際交流していきたいです。

最後に横浜についてみなと総合高校についてや、観光地について紹介しました。まずみなと総合高校については総合高校の中でもフランス語やドイツ語などが選べたりなど幅広い選択科目があるということや、このプログラムがあったりなど国際交流が盛んであるということです。次に観光地については、バンクーバー市にも中華街があったので、日本の中華街について紹介したり、みなと総合高校から近いみなとみらいについて紹介しました。